

プラエド通信

<発行者>

認定NPO法人 プラス・エデュケート

理事長 森 顕子

理事長挨拶

例年以上に寒く感じた冬が過ぎ、待ちわびた春となり、桜だけでなく水仙やチューリップなどの花々に癒されています。さて、教師にとって、春は卒業・進学と子どもたちの晴れ晴れとした姿に触れ、1年間の苦労を一気に忘れてしまうほどの喜びに包まれる季節です。今年もたくさんの笑顔であふれました。スタッフ・ボランティアのみなさん、そして行政・寄付者の方々など、様々な方々にご支援をいただきました。誠にありがとうございました。

加えて、2025年度も日本語初期指導教室事業は、これまで同様4つの自治体からの委託を受けることが決定しました。また、昨年10月から始まった子どもの日本語教師育成事業（『FOR+（プラス）ゼミ事業』）も参加してくださる受講生が約70名となり、盛り上がってきました。そして、博報賞をいただいたことで、取材や視察、研修会の依頼も増えました。

2025年度も、さらに精進を重ね、1人でも多くの子どもの質の高い日本語教育が届けられるよう、努力を重ねていきます。

どうぞ今後とも温かいご支援を賜りますよう、お願いいたします。

理事長 森 顕子



豊明市日本語初期指導教室

2024年度は、プレスクール(就学前児童への日本語指導)参加者が、26名という非常ににぎやかな教室となりました。そのうち3名は保育園に通っていない「未就園」の子どもでした。来日して間もない子どもが入学する場合、保護者も日本の学校制度に戸惑うことが予想されます。そのような子どもに、保護者同伴で15時間程度日本語を教えました。4月から元気いっぱい、楽しく学校生活を送ってほしいと思います。下の写真は、修了証を渡したときのものです。



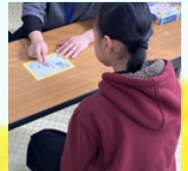
碧南市日本語初期指導教室

2024年度は受け入れ人数が50人を超え、さらに元気のいい子どもが多く、にぎやかな一年でした。習ったことを使う場面を増やし、新聞学習では、お手紙作成にも挑戦しました。担任の先生からお返事が来て大喜びでした。漢字の学習では、画の構成を意識しながら楽しく学びました。2024年度も、いっぽ教室の卒室生が高校に進学できたというニュースをいくつか聞きました。うれしい限りです。日本語ゼロからよくがんばったと思います。

【受入児童生徒の国籍】

ブラジル21名
ベトナム19名
フィリピン6名
インドネシア6名
ペルー2名
スリランカ1名

DLA「話す」テスト
「対話タスク」をしているところ ⇒



⇐漢字学習中
「足」を組み立てているところ

半田市日本語初期指導教室

2021年度から初期指導教室を開室し、4年目になりますが、初めてのことがいっぱいの年になりました。まずは、板山小学校、有脇小学校の2校が初めて初期指導教室を利用しました。タクシーでの送迎ということもあり、先生方は拠点校に子どもを送り出すことに、戸惑いもあったようです。ですが、トラブルもなく終えることができました。また、乙川小学校が初めて拠点校となったり、横川小学校では、2023年度までと異なる広い教室での開室でした。全チーム終了時には、先生方から「3か月間の学習を終えた子どもたちが、楽しく授業に参加し、日本語をたくさん話すようになった」と感謝のお言葉をいただくことができました。



名古屋市初期日本語集中教室

2024年度5月より名古屋初期日本語集中教室 御園教室が開室しました。全チームで33名、名古屋市内18校の小学校から児童生徒を受け入れました。子どものルーツも様々で子どもたちの個性が光る教室となりました。初年度を無事に終えることができたのも、教育委員会をはじめ、学校の先生方、保護者の方々のご協力があったからこそです。この場を借りてお礼申し上げます。2025年度はどんな子どもたちと出会えるか楽しみです。引き続き、子どもたちへの指導に尽力いたします！

【受入児童生徒の国籍】

中国10名、ネパール9名
フィリピン6名
パキスタン3名
インドネシア1名
シンガポール1名
ロシア1名
韓国1名
アメリカ1名



中部経済連合会国際部主催のシンポジウムにパネリストとして登壇しました。

2025年2月14日にナディアパーク(名古屋市中区)にて行われた中経連主催のシンポジウムに森がパネリストとして登壇しました。

パネリストとして、

- ・日進工業(株) 代表取締役 長田様(中経連会員代表)
- ・鈴鹿市 市長 末松様(自治体代表)
- ・南山大学国際教養学部 教授 平岩様(研究者代表)
- ・当法人 理事長 森(NPO・NGO代表)

が登壇し、それぞれの立場から、「外国人が活躍できる社会に向けて」というテーマで意見を交わしました。

対面・オンラインでの参加者は210人で、中には経済界のそうそうたる顔ぶれも含まれていました。

そのせいか珍しく、森も緊張感を漂わせていましたが、開始直後に紹介を飛ばされてしまうというハプニングの

後は、力が抜け、いつもの“森節”が展開されました。特に、プラス・エデュケートの最大の強みでもある**現場**の経験値に基づく具体的なエピソードに、会場のみなさまの共感を得ていたのは、さすがでした。

このような機会をいただけて、様々なお立場の方々と意見を交わすことで、より一層外国ルーツの子どもたちの現状を知っていただける貴重な時間となりました。

政府・自治体・企業・教育現場・マスコミ等、様々な分野で外国人を受け入れ共生社会を築いていく上での理解が深まることは、とても大切なことだと思いました。

シンポジウムの様子はこちらをご覧ください。⇒
(中部経済連合会HP)



講演報告と今後の予定 (2025年～)

- 1月29日 多文化フリースクールちば (千葉県)
「日本語ゼロレベルから簡単なやり取りを可能とする」
- 2月11日 北名古屋市国際交流協会
「ブラエド式 子どもの発話を促すための教材と手法」
- 2月18日 刈谷市小中学校特別支援学校教務主任研修会
「外国ルーツの子どもたちへの指導の注意点や心構え」
- 2月20日 埼玉県国際課
「愛知県豊明市での日本語初期指導事業の実践と成果」
- 2月25日 多文化フリースクールちば (千葉県)
「生きた日本語のやりとりのためのヒント」
- 3月16日 長久手市国際交流協会
「ブラエド式 子どもの発話を促すための教材と手法」
- 5月 2日 小金井国際支援協会 (東京都)
第1回「あのね1の教え方概要」
- 6月 6日 第2回「あのね2の教え方概要」
- 7月18日 第3回「あのね3の教え方概要 (文字指導を含む)」
- 6月14日 一宮市国際交流協会
「外国人児童生徒向け進路説明会」
- 6月25日 名古屋市立大学看護学研究科
「外国人支援活動、日本語教育支援の取り組みについて」

視察を受け入れました。

2025年2月13日に、日本経済団体連合会様(総勢9名)の視察を受け入れました。日本語初期指導教室から放課後学習教室まで見学されました。豊明市長、豊明市教育長からもご挨拶いただき、とても有意義な視察となりました。



子どもたちにも積極的に話しかけてくださいました。



豊明市長ご挨拶



豊明市教育長ご挨拶

メディア報告

- 2月15日 朝日新聞
- 3月14日 中日新聞
- 3月17日 日本教育新聞／教育新聞
- 4月 1日 博報堂教育財団HP掲載予定
- 5月 1日 月間経団連5月号座談会掲載予定
- 発行日未定 明治図書「授業力&学級経営力」掲載予定



ご支援者様いつもありがとうございます。

坂本ドネイション・ファウンデーション(株)、(財)ホシザキ新星財団、(株)ホームカラクト、(株)ピー・プレイス(株)豊明交通、Home&nico安井建設(株)、朝日工業(有)、社会保険労務士法人絆、名古屋国際観光バス(株)、藤田医科大学SDGs推進室、日本フィランソロピー協会、博報堂教育財団、個人支援者171名(順不同)

2025年度のご支援の継続加入をよろしくお願いいたします。

払込取扱票を順次郵送させていただきます。

寄付・正会員・賛助会員かを記載いただき、ゆうちょ銀行へ振込をお願いいたします。

認定NPO法人 プラス・エデュケート
〒470-1131
愛知県豊明市二村台3-1-1豊明団地55棟107号
TEL / FAX : 0562-92-3822
E-mail : plus_educate@yahoo.co.jp
HP : <https://www.plus-educate.org/>



Plus Educate プラス・エデュケート



プラエド

プラエド通信編集：中西 智子